

勢和小学校だより



明日も行きたくなる勢和小 ～楽しく笑って過ごせるように、やって、考え、工夫しよう～

発行日：令和7年9月11日 第18号

勢和大橋での事故防止のため、出江地区児童は学校から大橋を渡り終えるまでバスで



長年にわたり交通事故の危険が指摘されていた勢和大橋の通学路問題について、大橋の拡幅工事の見通しがなかなか持てないことから、交通安全ボランティアの見守りが少ない下校時に、出江地区の児童が学校から勢和大橋を渡り終えるまでスクールバスに乗車することになりました。勢和大橋を渡り終えてからは、これまでどおり徒歩で下校します。

この危険回避措置について、特に下出江区長をはじめ区民の皆様には、勢和大橋を渡り終えたところの空き地が活用できるようご尽力いただき、今回の措置を実現することができました。

ありがとうございます。9月1日から出江地区児童は、下校時にスクールバスを活用し安全を確保しています。



道徳教育研修

～考え、議論する道徳授業を進めるために～



夏季休業中に、勢和小中学校の職員が一堂に会し、三重県教育委員会道徳教育アドバイザーの河合宜昌さんを講師にお招きして、道徳科授業に関する研修を実施しました。

道徳教育は学校教育全体を通して行われますが、「道徳科」は教科書を使用する授業です。物語などを通して、さまざまな場面における登場人物の行動や心情を深く考えることで、よりよく生きるための自身の

あり方を見つめ直していきます。

研修では、現代の道徳教育に求められることや、以前から変わらない普遍的な価値について学んだ後、授業において道徳的価値をどのように子どもたちに考えさせるか、その具体的な手法を学びました。

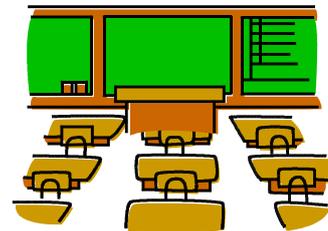
今回の研修で得た知見を生かし、9月からの授業では、子どもたちが「考え、議論する」道徳科の授業を創

造できるよう、実践に努めてまいります。

人数の多い学年を2クラスに ～指導方法工夫改善実施計画調書を提出～

現在、1クラスの人数が上限の35人に近い学年について、35人未満であっても2クラスで運営ができるよう、町教委を通じて県教委に指導方法工夫改善実施計画書を出しました。

要望実現に向けて、1クラス状態での課題や2クラス運営の教育的効果などを具体的に県教委に伝えていきます。



働き方改革へのご協力をお願い

4月28日付けの学校だより第4号でもお知らせしたように、本校では教職員がより子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、また教職員の働き過ぎを防ぐため、働き方改革を進めております。

具体的には、宿題やテストの採点、プリント印刷などの業務をスクール・サポート・スタッフ（SSS）が担当したり、モジュール授業を導入することで月曜日の6時間目を全校一律で5時間とし、放課後の時間を確保したりする取り組みを行っています。

ご理解いただきたい点として、本校教職員の勤

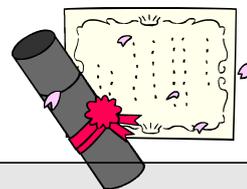
務時間は午前8時20分から午後4時50分までとなっております。そのため、勤務時間外のご連絡につきましては、学校ホームページの「お問い合わせ」や留守番電話で対応いたします。

ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、教職員が子どもと向き合う時間を確保し、更に時間外勤務縮減のため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



今年度卒業式は3月18日(水)

少し先の話ですが、今年度の卒業式は多気町内は3月18日(水)に行うことになりました。中学校は3月6日(金)です。関係の保護者の皆様はご確認をお願いします。



心配事は遠慮なく学校まで

家庭訪問や個別懇談会など、担任が直接、保護者の皆様とお会いできる機会は限られています。日常的には連絡ノートや電話などでのやりとりはあるものの、学校生活に関して不安なことや疑問に思われることもあろうかと思えます。

そのような時には遠慮なく、担任や管理職など学校職員にお問い合わせください。全体にはお伝えしていないことでも、お伝えできる範囲で個別に対応いたします。